

2020 年度  
文京学院大学人間学部  
FD 委員会報告書（概要）

人間学部 FD 委員会作成

## 目次

あいさつ	p.2
1. 今年度の活動目的	p.3
2. 活動経過と内容	p.4
3. 委員会議事録（第1回～第5回）	p.6
4. 今年度のFD活動を振り返って	p.19
5. 委員氏名	p.19

ごあいさつ

椋島香代（人間学部学部長）

文京学院大学は「教育力日本一」をめざしています。この大きな目標を達成するためには教員の教育力向上が欠かせません。そのために FD 研修は重要な取組であるといえるでしょう。人間学部では歴代の学部長が FD 委員会に所属し、FD の充実を図ってこられました。今年度から私がお後を引き継ぐことになりましたが、新型コロナウイルスの世界的な流行となり、これまでの教育活動とは全く異なる状況に陥りました。当然、FD も工夫が必要になります。FD 委員の皆さんとテーマ、そして研修会の実施方法について検討を重ねました。教員が手探りで行うことになった遠隔授業をテーマに据え、オンラインで研修会を行いました。各学科から話題提供をしていただき、チャット機能を利用して「一人一回は質問や意見を書きこんでください」としたところ、たくさんの質問や意見を読むことができました。先生方が工夫を重ねながら授業に取り組んでいることがわかり、自分の授業改善にいかすことができました。また、互いに共感し、励まし合う機会にもなったように思います。詳細はこの報告書をご覧ください。

新しい FD 研修会の実施を推進して下さった中山委員長をはじめ、委員の小林剛史先生、奈良先生、お世話になりました。研修会で話題提供をして下さった寺島先生、奈良先生、長野先生、小栗先生、岩館先生、安藤先生、畑先生、木村学先生、お忙しい中すばらしい発表をありがとうございました。そして、熱心に参加いただいた人間学部の先生方、職員の皆さま、ありがとうございました。学部の教育力向上に少しでも寄与することを願っております。

## 1. 今年度の活動目的

人間学部 FD 委員会は今年度で発足 8 年目を迎える。毎年、活動報告書を作成し成果を確認し、さらにその反省をもとに次年の活動の方向性を決めてきた。報告書は大学のホームページ上に「バナー」を設置、公開している。

2020 年度はコロナ対応に追われる 1 年間となった。新型コロナウイルス感染症対応として、年度初めから全面的な遠隔授業を導入し、様々な対応に追われながらも前・後期授業が終了した。初めての試みが多い中、学生の負担が増大していることは当然のこと、教員に關しても戸惑いが多く、大きなトラブルはないものの教学において多くの課題を抱えることとなった。

このような状況下において、今年度の人間学部 FD 研修会のテーマは、前期「各学科の遠隔授業の取り組みについて－工夫された点、課題－」、後期「今後を見据えたハイブリット型の授業について」とし、各学科の工夫されている点や課題、また、教員視点、学生視点に立った遠隔授業のメリット、デメリットを共有することにより来年度に向けより質の高い教育を提供する一助になること、また、次年度を見据えたより質の高い授業展開を考えること、を目的に実施された。研修会、委員会はオンラインにより実施した。

各学科、教員から多くの課題や工夫が報告され、学生視点に立っての議論も行うことにより、遠隔授業、対面授業の改善、課題の質と量、遠隔を活用した新たな授業手法など、多くの知見を得ることができた。

FD 委員会での検討、FD 研修会での教職員間の議論は、来年度以降における新たな学びの提供に役立つことを期待している。

(中山智晴 FD 委員長)

## 2. 活動経過と内容

実施日	FD 委員会（主な議題）	研修会
5月20日（水）	第1回 人間学部 FD 委員会 ・前期及び後期の活動内容について確認 ・FD 委員会開催日程の調整 ・人間学部前期 FD 研修会の開催日時と内容の検討 ・報告書の内容検討	
6月17日（水）	第2回 人間学部 FD 委員会 ・FD・SD に関する規程、前年度までの FD 委員会の取り組みの確認 ・全学 FD 委員会報告 ・他学部 FD 委員長へのヒアリング ・前期 FD 研修会のテーマ決め ・FD の実施 内容・方法についての見直し	
7月15日（水）	第3回 人間学部 FD 委員会 ・前期 FD 研修会の進行（役割）確認 ・研修会参加者へのアンケート内容の検討 ・報告書の内容 再検討	
7月27日（月）	第4回 人間学部 FD 委員会 ・FD 研修会の内容、担当についての再確認 ・研修会の流れの確認	
7月29日（水）	「各学科の遠隔授業の取り組みについて –工夫された点、課題–」 ○各学科の遠隔授業の取り組み概要 ○遠隔授業のメリット・デメリット（学生視点・教員視点から） ○遠隔授業を実施するにあたっての課題・工夫した点 ○今後の遠隔授業に対する提案 など	

10月19日(月)	第5回 人間学部FD委員会 ・前期FD振り返り ・後期FDのテーマと内容 ・FD実施の改善・検討	
11月2日(月)	ハイフレックス型授業の可能性の検討 (メール対応)	
1月20日(水)	「今後を見据えたハイブリット型の授業について」 ○オンライン・オンデマンド授業に向いている授業と理由 ○同一科目内にハイブリット型を取り入れる可能性やメリット ○ハイフレックス型授業の可能性と課題 など	学部後期FD研修会
2月1日(月)	2020年度人間学部FD研修会 報告書の作成と修正	
2月4日(木)	2020年度FD委員会 振り返り	

### 3. 委員会 議事録・資料（第1回～第5回）

#### 第1回 人間学部FD委員会 議事録

日時：2020年5月20日（水）15:00～16:00

場所：WEB会議

出席者：中山智晴 椛島香代 小林剛史 奈良環

##### 【確認事項】

前年度委員会からの申し送り内容を基に、今年度前期及び後期の活動内容について確認を行った。

##### 【審議事項】

1. 定期のFD委員会開催日程について
2. 人間学部前期FD研修会の開催日時について
3. 前期FD研修会の内容について

テーマ案：「各学科の遠隔授業の取り組みについて –工夫された点、課題–」

##### ※実施内容の検討

- 各学科の遠隔授業の取り組み概要
- 遠隔授業のメリット・デメリット（学生視点・教員視点から）
- 遠隔授業を実施するにあたっての課題・工夫した点
- 今後の遠隔授業に対する提案 など

※スケジュール検討（いつまでに、どこまで実施するのか）

これらの内容に加えて、以下のような内容についても検討する

- 遠隔授業によって到達目標がどの程度達成されたか等の評価
- 対面授業が必要な内容や科目、オンラインに適した科目等について前期の授業をした結果からの検討

次回のFD委員会までに各学科での担当者を決める。また、前期のFD研修会までに各教員がそれぞれ上記の内容について書き留めておくよう伝える。

4. 報告書の作成について

報告書に記載すべき内容の確認をし、報告書作成の必要性も含め、今後検討する。

次回 第2回FD委員会 6月17日（水）16:00～17:00

## 第1回 人間学部 FD 委員会 資料

### 1. 活動スケジュールの確認

<前期>

- ・FD 委員会の開催日時の検討（毎月水曜日）
- ・前期 FD 研修会の内容検討
- ・9月17日（木）人間学部前期 FD 研修会の実施方法
- ・前年度 FD 研修会の報告書の作成担当確認
- ・私立大学改革総合支援事業の実施について

<後期>

- ・前期 FD 研修会の評価と反省
- ・前期 FD 研修会の報告書作成
- ・後期 FD 研修会の内容検討
- ・全学 FD/SD 委員会と内部質保証委員会の合同会議（テーマ検討）
- ・後期 FD 研修会の報告書作成
- ・12月25日（金）後期 FD 研修会の実施
- ・3月16日（火）全学 FD/SD 研修会の開催
- ・次年度の FD 活動の方向性の検討

### 2. 前期 FD 研修会のテーマ検討

（案）「各学科の遠隔授業の取り組みについて –工夫された点、課題–」の実施内容・スケジュールの検討

※実施内容の検討

- 各学科の遠隔授業の取り組み概要
- 遠隔授業のメリット・デメリット（学生視点・教員視点から）
- 遠隔授業を実施するにあたっての課題・工夫した点
- 今後の遠隔授業に対する提案 など

※スケジュール検討（いつまでに、どこまで実施するのか）

以上

<添付資料>

#### 1. 2019年度 文京学院大学人間学部 FD 委員会報告書

- ・今年度の活動目的
- ・活動経過
- ・前期 FD 研修会（テーマ:適正な成績評価のために）
- ・後期 FD 研修会（テーマ:まちづくり研究センターの社会貢献・地域連携活動の紹介と課題）

- ・今年度の FD 活動を振り返って
- ・議事録（第 1~8 回、臨時 2 回分）

## 2. 平成 30（2018）年度 文京学院大学人間学部 FD 委員会報告書

- ・今年度の活動目的
- ・活動経過
- ・前期 FD 研修会（テーマ:学生の多様化を正面から捉えた教学改革を）
- ・後期 FD 研修会（テーマ:学生の多様化と DP）
- ・今年度の FD 活動を振り返って
- ・議事録（第 1~8 回、臨時 2 回分）

## 3. 前委員長からの申し送り

前委員長から今までの委員会の検討事項や課題をヒアリング、今年度の委員会運営の参考とした。

## 第2回 人間学部FD委員会 議事録

日時：2020年6月17日（水）15:00~16:00

場所：WEB会議

出席者：中山智晴 椛島香代 小林剛史 奈良環

### 【確認事項】

1. 報告書の作成が必須であることが確認された。
2. FD・SDに関する規程、前年度までのFD委員会の取り組みが確認された。
3. 全学FD委員会報告
4. 他学部FD委員長へのヒアリング結果が報告された。

### 【審議事項】

1. 人間学部前期FD研修会について、以下のとおり決定した。

日時：2020年7月29日（水）16:00~17:00

場所：Teamsを使用したWEB上での研修会

当日の大まかな流れ

16:00~16:05	本日の研修会の流れ（FDの進め方）
各学科発表 5~10分	学科発表
	全員参加での意見交換（チャット機能で <u>一人1回必ず</u> 意見または質問を入力）
意見交換 5分	学科発表
	全員参加での意見交換（チャット機能で <u>一人1回必ず</u> 意見または質問を入力）
16:05~16:55	学科発表
	全員参加での意見交換（チャット機能で <u>一人1回必ず</u> 意見または質問を入力）
16:55~17:00	まとめ、アンケートのお願い

次回第3回FD委員会 7月15日（水）16:00~17:00

内容：研修会アンケートの内容について、発表の順番及び流れの確認等

## 第2回 人間学部FD委員会 資料

### 1. 報告書作成の件

### 2. 文京学院大学FD・SD規程の確認

FDの実施内容・方法について、一方向の講義だけに偏るのではなく、双方向的なワークショップ、教員相互の授業参観や相互評価などを積極的に取り入れる。成績評価や学生による授業評価の結果について、FDの場や機会における議論や分析の対象とし、授業や教育課程、評価方法の組織的な改善に生かしていく。学生による授業評価の結果を分析・検討したうえで、授業の改善を図るためにFDを実施する場合には、学生の代表者または学外者に参画を求めることができるものとする。

### 3. 内部質保証委員会+全学FD委員会合同会議の件

○全学FD委員会では、毎年6月の内部質保証委員会にて、全学で行うFDと各学部で行うFDの調整を図るとともに全学FDでの内容について意見を伝えるとのこと、以下を案として伝えた。

#### <人間学部FD研修会（前期）の検討案>

テーマ「（仮）各学科の遠隔授業の取り組みについて ―工夫された点、課題など―」

- ・各学科の遠隔授業の取り組み概要
- ・遠隔授業の教育的メリット、デメリット（学生視点・教員視点から）
- ・遠隔授業を実施するにあたっての課題、工夫した点
- ・今後の遠隔授業に対する提案（後期以降もオンデマンド授業が適していると思われる科目と理由、あるいは、対面でなければできない科目と理由についてなど）

### 4. 他学部FD委員長へのヒアリング

### 5. 人間学部FD研修会（前期）の件

### 6. 学部FD研修会の学科発表者の決定

### 7. 中央教育審議会大学分科会 教学マネジメント特別委員会（第8回） R1.8.29

#### 【教学マネジメントに係る指針に盛り込むべき主な事項】

#### 【FD・SDの高度化】

○新たな教授法や教育プログラムを提供するに当たっては、それに必要な知識・技能などを身に付けられる研修の実施等、組織的かつ体系的なFD・SDの実施が不可欠である。

○FD・SDを実施したのち、受講者を対象としてアンケートを実施したり、一定の期間後に知識や技能の修得度合いの確認や追跡調査等を行ったりすることで、FD・SDの効果を測定することも考えられる。

#### <学位プログラムレベル>

○FD・SD（例えば、マネジメント経験者による講演会や、他大学の学部長などとの意見交換の機会の確保、政策文書等の外部資料や学位プログラムに関する認証評価資料等の内部資料等を活用した勉強会の開催等）を、定期的に企画・実施する必要がある。

○特に、教員としての経験が少ない新任の教員や実務経験のある教員の採用のタイミングで、大学教員に一般的に求められる基礎的な知識・技能や学位プログラムを担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFDは確実に実施されることが必要である（想定される内容の例：自学の歴史や建学理念を含む大学コミュニティに関する基礎情報、授業科目・教育課程編成に関する内容（シラバスにおいて標準的に期待される記載事項の書き方、履修指導方法等）、成績評価基準の適切な運用（ルーブリックの活用方法、GPAの算出と活用等）、学修成果の可視化（学生個人の学修成果の把握方法等））。

<授業科目レベル>

○教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFDが確実に実施されることが必要である。（想定される内容の例：授業科目・教育課程編成に関する内容（シラバスにおいて標準的に期待される記載事項の書き方、履修指導方法等）、アクティブラーニングや、情報収集から課題解決まで主体的に取り組んでゆく探究型学習を促す授業方法、ICTの活用法、厳格で公平な成績評価方法といった学修者本位の教育を提供する上で必要となる知識・技能）

○参加型のワークショップや公開授業、授業参観と同僚評価（ピア・レビュー）、FDer（Faculty Developer）による授業方法に対する個別的な助言（授業コンサルテーション）、自己啓発のための教材提供、オンラインでの学習機会の提供といった様々な手法の中から最適な手法でFDを提供することが考えられる。

○実施にあたっては、学修者本位の教育の観点を踏まえ、学修者が自らの学修を振り返るために有益な情報や、「卒業認定・学位授与の方針」で示された資質・能力の到達状況を把握するための質問も含むアンケートを作成・実施することが望ましい。

※参考資料

<2018年8月1日（水）人間学部前期FD研修会>

・講演 「学生の多様化を正面から捉えた教学改革を」 講師 居神浩 先生（神戸国際大学経営学部）

・グループワーク「大学の先生から新入生の皆さんへホンネのメッセージ」or「HPに書けない（学科の）DP」、アンケート

<2019年1月30日（水）人間学部後期FD研修会>

・テーマ：学生の多様性とDP（ディプロマ・ポリシー）  
（学部長挨拶、学科別討議、討議の報告、アンケート）

<2019年3月19日（火）全学FD・SD研修会>

・PROG テストの活用、学修成果のアセスメント

<2019年8月7日(水) 人間学部前期FD研修会>

・テーマ：適正な成績評価のために

(学部長挨拶、学科別討議、討議の報告、アンケート)

<2020年1月31日(水)>

・テーマ：まちづくり研究センター(まちラボ)の社会貢献・地域連携活動の紹介と課題

(学部長挨拶、講演、学科別討議、討議の報告、アンケート)

<2020年3月17日(火) 全学FD・SD研修会>

(新型コロナウイルス感染対策のため延期)

1案：社会貢献・地域連携：教職員がどう関わるか、2案：入試改革について

以上

## 第 3 回 人間学部 FD 委員会 議事録

日時：2020 年 7 月 15 日（水） 16：00～17：00

場所：WEB 会議

出席者：中山智晴 椛島香代 小林剛史 奈良環

### 【審議事項】

#### 1. 人間学部前期 FD 研修会の進行（役割）確認

<当日の流れ>

16：00～16：05	本日の研修会の流れ（FD の進め方）	
各学科発表 5～10 分	学科発表（コミュニケーション学科）	発表に対しての質問や意見、感想等はチャット機能で随時受け付ける
	学科発表（心理学科）	
	学科発表（人間福祉学科）	
16：05～16：55	学科発表（児童発達学科）	
	意見交換	
16：55～17：00	まとめ、アンケートのお願い	

#### 2. アンケートの内容について

発表内容に関することは省いた内容のアンケートにする。

#### 3. 報告書の内容

当日発表の PPT とチャットの質問や意見などを反映した総括を加えた形で作成する。

### 【報告事項】

以下の内容の報告がされた。

#### 1. 外部評価懇談会、全学 FD 研修会の件

##### 1-1 外部評価懇談会

- ・学部 FD で紹介した各先生方の取り組みを紹介。
- ・学部 FD で発表の先生方にスライド資料の提供を依頼

##### 1-2 全学 FD 研修会

- ・人間学部 FD 委員長が学部の特徴を紹介
- ・その後、1-2 名の学部 FD 発表者の先生方が登壇
- ・登壇教員は人間学部 FD 研修会終了後に決定する。

次回第 4 回 FD 委員会 7 月 27 日（月） 16：00～17：00

内容：研修会についての最終確認

## 第4回 人間学部FD委員会 議事録

日時：2020年7月27日（月）16：00～16：15

場所：WEB会議

出席者：中山智晴 椛島香代 小林剛史 奈良環

### 【確認事項】

1. 明日のFD研修会の内容、担当についての確認

<当日の流れ>

16：00～16：05	本日の研修会の流れ（FDの進め方）	
各学科発表 5～10分	学科発表（コミュニケーション社学科）	発表に対しての質問や意見、感想等はチャット機能で随時受け付ける
	学科発表（心理学科）	
	学科発表（人間福祉学科）	
	学科発表（児童発達学科）	
16：05～16：55	意見交換	
16：55～17：00	まとめ、アンケートのお願い	

次回第5回FD委員会 8月3日（月）16：00～17：00

内容：9月全学FDでの発表者の決定等

## 第5回 人間学部 FD 委員会 議事録

日時：2020年10月19日（月）10：00～10：30

場所：WEB 会議

出席者：中山智晴 小林剛史 奈良環

### 【審議事項】

#### 1. 前期 FD 振り返り

- ・適切かつ他大学に先んじた取り組みができていたことが確認できた。
- ・人間学部としては遠隔授業の取り組みに関して対応も早く、また、学科ごとの教員の個性に富んだ試みができていたことがわかった。
- ・学生が動画を視聴して課題をこなすというだけでなく、授業に参加したと思える授業ができていたことがわかった。
- ・実習や実技など人間学部ならではの遠隔授業、オンラインでの授業の評価は高く、その共有ができた。
- ・アンケートの結果からも前期 FD のやり方は良かったことがわかる。
- ・発表へのフィードバックをその場でできる発表時間の設定等は今後も検討が必要

#### 2. 後期 FD のテーマと内容

○テーマ案：「今後を見据えたハイブリット型の授業について」

次年度を見据えた、コロナ禍が収まった後のより良いハイブリット型授業展開を考える

○日程案：2021年1月20日（水）研究科委員会終了後の1時間

○FD の方法案：前期同様、各学科で発表者を決め、各学科1名が発表をし、それに対しての意見をチャットで募り、フィードバックしていく。

#### 本日の委員会の中で出された案

- ・オンラインと面接授業をどうハイブリットしていくか。
- ・これまでの遠隔授業と面接授業の取り組みから、将来のハイブリット型授業について参考となるような授業の取り組みを発表する。（面接授業の方が良いと思っていたが、意外とそうでなかった授業やその内容、オンラインにしてみても意外と良かった点のあった授業と内容、オンラインに向いていると思ったが向いてなかった授業やその内容等）

次回第6回 FD 委員会 : 後日連絡

#### 4. 今年度の FD 活動を振り返って

今年度は遠隔授業への対応が主たるテーマとなった。人間学部は専門の異なる4学科から構成され、それぞれ学びの特色があるために遠隔授業の対応についても様々な意見があると思われたが、教員は他学科の抱える課題や工夫を前向きにとらえ、自身の教育に取り込んでいこうという姿勢が強く感じられる一年であった。

人間学部は実習、演習授業、あるいは学外での社会貢献活動が積極的に行われてきた。そのため、対人での対応を余儀なくされる場面が多く、感染症対策に大変気を遣うことになった。例年であれば、たとえば実習、演習授業においては他学科の取り組みを深く理解しなくても各教員の努力で対応できていたものが、今回は他学科の工夫をより深く理解し、それを参考に改善を試み、学生により質の高い学びを提供したいという教員の思いが強く感じられた。FD 研修会においても他学科の取り組みへの質問が大変多く寄せられ、皆様の興味・関心に対しては報告者から丁寧な回答をいただいている。

今年度の FD 委員会では外部講師を招聘しコロナ禍での対応事例を講演いただくことも話し合ったが、まずは人間学部の教職員の現状を皆が理解・共有し、知恵を出し合っ前に進んでいこうということになった。研修会には職員の方々も多く参加され、学部一丸となって学生のこと、教育のことを考える良い機会となった。

研修会後に実施した教職員へのアンケートで今年度の FD 研修会への感想を聞いている。全員がテーマ内容について適切であったと回答され、他学科の取り組みは大変参考になると答えている。特に、遠隔授業においては外国の研究者を授業に招聘したり、他大学の学生とワークショップを行うことが容易になるなど、前向きな取り組みが好評であった。

次年度の FD 研修会テーマについても聞いているが、同内容で来年度も実施してほしいという意見がある一方、ハイフレックス型授業の運営、課題について学びたいとの意見も多く見受けられた。来年度の委員会では、アンケート結果を参考に新たな挑戦に向けてのテーマ設定を検討し、教職員が一丸となりより質の高い学生教育を進めていく環境づくりの一助になれるよう努力していく所存である。

#### 5. 委員氏名

コミュニケーション社会学科	中山 智晴 (委員長)
児童発達学科	椛島 香代
人間福祉学科	奈良 環
心理学科	小林 剛史

以上